母校の高校での2週間の教育実習で一番苦勞した事は授業実習でした。

実習オリエンテーションで最初に打ち合わせさせていただいた際に、文系理系ともに授業をさせていただくことを知りました。担当教員の方からは、数学を苦手としている人にも分かりやすいように教科書を噛み砕いて説明できるようにしておくことが大切だと言っていました。しかし、実習前の教材研究では「教科書を噛み砕く」との意味を理解しきれませんでした。そのため、実習前の模擬授業では、生徒役の実習生にも分かりにくい授業になってしまったと思います。それからは、教材研究の際にはインターネットで授業の解説動画を見て、分かりやすい説明・板書を学んだり、担当教員の方にどのような表現や伝え方がよいかを相談するようにしました。そうすることで、生徒からも分かりやすいと言ってもらえる授業をつくることができました。今思うと、実習が始まって少しの間は自分自身が教えることが目的になっていたと思います。しかし、実習を通して、授業において大切なことは「生徒が理解すること」だと改めて感じました。